

# 12月報(2020年) 萌 カトリック福山教会



福山教会活動テーマ：

「喜びをもっていのちをもたらす福音を社会に伝えよう」

〒720-0808 福山市昭和町 7-26  
☎【084】923-0614 FAX【084】923-0615  
e-mail :fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp

## ダン神父さま、助任司祭として福山教会へ着任

【ご挨拶】 ロルダン・オリラン・ゼルナ (Roldan Orillan ZERNA) 神父様



私は、フィリピン宣教会の司祭です。1983年12月29日生まれの37歳です。2010年6月4日、フィリピンで司祭叙階を受けました。2011年パプアニューギニアで働き、2013年から今年の4月まで沖縄読谷村の教会で働きました。読谷村の教会は殆どがフィリピン人とアメリカ人で日本人は少なかったです。

本年の10月25日に広島熾町教会に着き、11月8日(日曜日)に福山教会に着任しました。多忙な猪口神父様と協力し、一緒に福山教会のために働きたいと思います。日本語は少しは分かりますが、これから勉強します。(英語は問題ありません。)信者の皆さんとの関わりを大切に歩んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。

りますが、これから勉強します。(英語は問題ありません。)信者の皆さんとの関わりを大切に歩んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。

## 備後協働体侍者合宿がありました！

侍者錬成会を終えて

日曜学校 藤井 崇嗣

11月14日多くの制約がある中、福山教会で侍者錬成会が行われました。大人たちの心配をよそに、子供たちは精一杯カリキュラムに参加してくれました。そして、とても大切な気付きも与えてくれました。

イスラエルの高名な歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリは人類史におけるコロナ禍というインタビューで、次のように述べています。「人類が地球を支配したのは唯一ヒトが多数でも協力できる動物だからです。しかし現代の人類は協力を忘れ、分裂と敵対を選んでいるようです。」

子供たちは、同じ状況の中、良い侍者になるため協力して頑張る姿を見せてくれました。小さな希望ですが、大変うれしかったです。



## 七五三の祝福がありました！

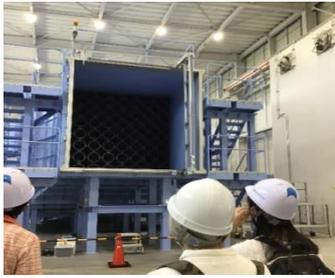
今年は9時のミサで8名、11時のミサで2名、ベトナム語のミサで2名の計12名の子ども達が祝福を受けました。世界中の子ども達が神様の愛の中で健やかに元気に育っていきますように…



南相馬便り㊤2020年11月 援助マリア修道会南相馬修道院 北村令子

11月のこちらは冬支度です。皆様お元気でしょうか？

東京電力福島第一原子力発電所（1F）の見学の後、1Fから約10キロメートル離れている、第二原子力発電所（2F）に回りました。2Fは奇跡的に爆発を免れました。そのためにどれほど東電社員と関連企業の人々が不眠不休の働きをされたかということを知って感激しました。いろいろな偶然と、神様の計らいとしか言いようのないことが積み重なってかろうじて爆発を免れました。設計では電源が1階に置かれているはずが、設置した機械が少し大きかったため1階に収まらず、1か所だけ2階に設置されていたことで、2Fは1Fのような電源喪失がなく救われたのです。でもそのひとつの電源を他の3つの建屋につなぐ作業が、巨大なケーブルを人力で（津波のため瓦



礫でふさがれ重機が入らない)、しかも夜中を徹して百数十人がかりで、ぬかるみ、瓦礫が散らばる中を、数キロメートルを引っ張ってつないで回ったと聞きました。東電の社員はもちろん関連企業の人々の死闘とも言える努力と神さまの奇跡的な計らいで、2Fは危機一髪のところまで冷却水を注入し、爆発を免れました。もし1Fと同じく爆発をしていたら、今の日本はないと思います。爆発回避のため、たった一つの生き残った電源で四つの建屋の原子炉燃料の冷却を守り抜いたのです。1Fはすべての電源が失われ、冷却水の注入ができなかったために爆発し放射能汚染を引き起こしたのです。当時働いた方のインタビューで、とにかく地域の人々の命を守らなければ、という至上命令を心に感じて、1週間無我夢中、不眠不休の甲斐あって、一段落した時にやっと家族の安否を確認しました。と。

私は東電の弁解をするつもりはありません。でも、そこで働いた方々も私たちと同じ人で、家族もあり、地震・津波の被害を受けながら、目の前の非常事態に自分のすべてを賭けて、個人の心配事を顧みず、精魂傾けて対処して下さったことを感謝したいと思います。そして今は、自分の人生を賭けた会社が、自分の愛する故郷であるこの地域を放射線被害で襲ったその後始末と、廃炉に向けての歩みにどんな思いでたずさわっておられるのでしょうか。被災者支援のボランティアをしながら、被害者であり同時に加害者となってしまった方々のことも心から外すことはできません。表現力が乏しく、十分伝えることができないのですが、東京電力福島第一と第二原発の見学を通して感じたことのほんの一部を紹介しました。

廃炉作業に欠かせないのが、最新鋭のロボット開発です。カリタス南相馬がある原町区の海岸近くに、「公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構」が取り組んでいる、「福島ロボットテストフィールド」という各分野のロボット実験場があります。風速60メートルが出せる機械の前で、風速20メートルを体感しました。

災害救援のためのドローン、瓦礫の上を走ることのできるロボットの開発、空飛ぶ自動車の実験、水中の探索をするロボット、看護介助のためのロボット等々、小型機が発着できる滑走路も備え、もちろんヘリコプターの離着陸できる広場、そしてトンネルや陸橋、橋、災害で壊れた家の再現、消防隊の訓練の場等々。震災と津波で居住できなくなった広大な土地にいろんな施設が整備されています。ここで東電の廃炉に必要なロボットなども開発されています。もちろん東電のためだけでなく、巨大化する自然災害に備えるためでもあります。小高の隣町、浪江にも「福島ロボットテストフィールド浪江滑走路」と「福島水素エネルギー研究フィールド」があります。水素の再生可能エネルギーによる電力を供給しています。福島は日本の最先端技術開発に貢献しています。

もっともってお伝えしたい事はありますが、今回はここまでとします。



## 12月・1月の行事予定

12月		1月	
5(土)	待降節黙想会	1(金)	神の母聖マリア
6(日)	宣教地召命促進の日		
8(火)	無原罪の聖マリア	3(日)	主の公現
12(土)	聖園クリスマス会	10(日)	主の洗礼
25(金)	主の降誕	11(月)	成人の日
26(土)	中井神父様による社会教説	13(水)	キリスト教一致祈祷集会(会場：福山)
27(日)	聖家族	17(日)	聖トマス小崎巡礼
28(月)	幼子殉教者	24(日)	ミカエルフェスタ
31(木)	聖時間	31(日)	世界こども助け合いの日

### 【投稿依頼】

2020年、コロナ禍での一年を振り返って、皆様はどのように過ごされたのでしょうか…どのような対策をされて、工夫されたことや、困ったこと、助かったことなど皆様の思いを言葉にしてみませんか…皆様の投稿をお待ちしています。

月報作成委員会

